

春からの古代学講座

2019年度前期講座

(4月～9月)

90分、月1回、5回講座(原則8月は休講月)。
詳しくは裏面の講座概要をお読みください。

『小右記』講読(入門)

—平安貴族の日常に触れてみよう— **NEW**

講師：関口 力(同志社大学嘱託講師)

第4水曜日 10:30～12:00

4/24 5/22 6/26 7/24 9/25

藤原実資の日記『小右記』の寛仁2年10月16日条を読み進めます。道長の有名な「望月の歌」をベースとして、撰閲時代の時代背景や宗教観、人間関係まで、貴族の周辺で起こる様々な事象を古記録で読む面白さを味わいましょう。

天皇陵研究の最前線 **NEW**

講師：山田邦和(同志社女子大学教授)

第3金曜日 10:30～12:00

4/19 5/17 6/21 7/19 9/20

日本古代史の重要テーマのひとつに陵墓研究があります。巨大古墳は古墳時代研究の基本資料ですし、京都の各地に点在する平安時代以降の天皇陵も歴史の謎を秘めています。最新の研究成果に基づき、古代から近代までの陵墓の実態を明らかにしていきます。

ヒエログリフで探るアケナテンの後継者 **NEW**

講師：小山雅人

(元京都府埋蔵文化財調査研究センター課長)

第4土曜日 13:00～14:30

4/27 5/25 6/22 7/27 9/28

アケナテン(アメンヘテプ4世)からツタンカーメンの即位までの時代の中で、最近史料の中から浮かび上がってきたネフェルネフルウアテン女王。女王は一体何者であったのか。ヒエログリフ碑文を駆使して、謎の女王に迫りたいと思います。

大王権継承儀礼の埴輪群像 **NEW**

—今城塚の埴輪祭祀場を読み解く—

講師：森田克行(今城塚古代歴史館特別館長)

第1金曜日 13:00～14:30

4/5 5/3(祝) 6/7 7/5 9/6

今城塚古墳の埴輪祭祀場からは、全国最大の240点を超える、さまざまに造形された形象埴輪が出土し、まさに大王墓の埴輪群像にふさわしい質と量を誇ります。本講座では、これら形象埴輪を全国的な視点から詳しく説明し、群像の意味合いを解説、歴史ロマン溢れる埴輪の世界に誘います。

御寺・泉涌寺の知られざる歴史と文化 **NEW**

講師：西谷 功(泉涌寺宝物館「心照殿」学芸員)

第3水曜日 15:00～16:30

4/17 5/15 6/19 7/17 9/18 現地散策

泉涌寺と聞いて連想されるのは「天皇家の菩提寺」や「楊貴妃観音」かもしれません。しかしいつ頃から菩提寺と認識され、なぜ観音が伝わるのかはあまり知られていないと思われます。京都東山に創建された(中国式)寺院である泉涌寺の歴史や文化を知り、現地見学会も含めて、その知られざる魅力を発見していきましょう。

平安王朝の歴史と文化 **NEW**

講師：龐谷 寿(同志社女子大学名誉教授)

第1土曜日 13:00～14:30

4/6 5/4(祝) 6/1 7/6 9/7

平安京という風土のなかで展開される王朝社会の政治の大きな流れのほかに、文化、宗教、様々な暮らし、今に息づく祭礼や年中行事という、京の地に刻みこまれた営みを通して、王朝四百年の歴史を探ります。歴史に興味のある方ならどなたでも楽しめる講座です。

公益財団法人 古代学協会

〒604-8131 京都市中京区三条高倉西入ル菱屋町48
京都文化博物館別館2階

TEL: 075-252-3002 (火曜～金曜 10:00～17:00)

FAX: 075-252-3001 HP: 「古代学協会」で検索

Facebook ページ: 公益財団法人 古代学協会

e-mail: kodaibunka@kodaigaku.org

※問い合わせの件名は「古代学講座」でお願いします。



古きものは尊ばれるべし

「古きものは尊(たつと)ばるべし」。古代学協会のシンボルマークにギリシア語で記された言葉です。創設者の故角田文衛博士の造語であり、古代史を学びたいと願う人々に、あまねく投げかけられています。



古代学講座

すべて5回講座です。1回ずつの申し込みは出来ません。詳しくは古代学協会ホームページをご覧ください。QRコードからも閲覧できます。



和歌を読み解く3『源氏物語』の和歌

講師：中 周子（大阪樟蔭女子大学教授）

第4土曜日 10:30~12:00

4/27 5/25 6/22 7/27 9/28

今年度は、物語でありながら多くの和歌を含み、しかも和歌史上に多大な影響を及ぼした『源氏物語』の和歌を取り上げます。前期は紫の上に注目し、和歌を用いて如何に女君が描かれているのかを解明し、物語和歌の面白さに迫ります。

『小右記』講読(中級)

—平安貴族の日常に触れてみよう—

講師：野口孝子（同志社女子大学嘱託講師）

第2土曜日 13:00~14:30

4/13 5/11 6/8 7/13 9/14

本講座は、「古代文化」に『小右記』註釈として掲載される前の準備段階のものです。今期は寛弘2年11月条を読みます。後涼殿での童子殺傷事件など興味深い内容ばかりです。講義はゼミ方式で行います。自分で調べて発表し、さらに執筆する意欲のある方の参加をお待ちしています。

『魏志』東夷伝を読む

講師：田中俊明（滋賀県立大学名誉教授）

第2水曜日 15:00~16:30

4/10 5/8 6/12 7/24 9/25 ※講座日注意

『魏志』東夷伝は、そのなかに倭人伝が含まれていることで知られていますが、「東夷」と呼ばれる地域の民族誌です。倭人伝を考えるためにも、東夷伝全体を知る必要があります。講座では原文から読むことによって、3世紀の東北アジアについて考えてみたいと思います。

座学と現地散策で学ぶ平安京と周辺の遺跡

—院政期の巨大建築「六勝寺」・洛北の山林寺院跡—

講師：梶川敏夫（元京都市考古資料館館長）

第2水曜日 13:00~14:30

4/10 5/8 6/12 7/10 9/11 ※現地散策2回

遺跡の調査成果やその歴史的背景を座学で学び、その後実際にその遺跡を訪れ、遺跡から過去の姿を読み取る方法や、残された遺跡から見えてくる歴史の実態など、フィールドで学ぶ歴史の面白さを感じていただきます。

『小右記』講読(初級)

—平安貴族の日常に触れてみよう—

講師：野口孝子（同志社女子大学嘱託講師）

第2水曜日 10:30~12:00

4/10 5/8 6/12 7/10 9/11

平安時代のグローバル化ともいえる対外貿易と、実資の所領である「高田牧」関係の記事を読み進めます。解釈に必要な内容を講義形式で行い、本文は受講生の方々による発表（希望者のみ）、討論という形で進めます。

日本考古学上の大論争と争点の学説を紐解く6

講師：森岡秀人（古代学協会客員研究員）

A日程 第3水曜日 13:00~14:30

4/17 5/15 6/19 7/17 9/18

B日程 第4水曜日 13:00~14:30

4/24 5/22 6/26 7/24 9/25

A日程とB日程は同じ内容の講座です。今期も、有力豪族の埋葬論争、酸素同位体比年代測定から見る邪馬台国活動期をめぐる争点、弥生高地性集落の比較考古学論争など、新しいテーマを毎回取り上げるので、初めての方にも楽しんでご受講いただけます。

〈古代学協会・佛教大学四条センター提携講座〉

会場は佛教大学四条センターです。お申し込み不要。

1回1,000円を受講料を当日会場でお支払いください。古代学協会正会員は無料となります。

古墳副葬品の基礎知識 NEW

講師：西川寿勝（大阪府立狭山池博物館学芸員）

水曜日 15:30~17:00

4/17 5/22 6/19 7/3 8/21 ※講座日注意

古墳を発掘すると数多くの副葬品が見つかり、時期によってその内容は変化に富みます。副葬品の意味には宝器(ほうき)説、葬送用品説、生前愛用品説、三種の神器説など、様々な仮説があります。勾玉(まがたま)の起源は何か？ 供献土器に食物を入れたのか？ 古代に靈魂観はあったのか？ 研究の最前線を紹介します。

《講座概要》

会場：(公財)古代学協会（京都文化博物館別館2階）※エレベーターなし 定員：各講座23人(先着順)

受講料：5回講座7,000円(税込み)と資料代等500円 ※現地散策は別に傷害保険料(実費)。

定員に満たない場合は途中回からの申し込みもできます。

古代学協会正会員に入会されると、受講料割引・申し込み先行受付・提携講座の無料受講の特典あり。

申し込み：3月1日(金)~定員になれば終了。正会員は2月27日(水)・28日(木)先行受付。

別紙「講座申し込み票」をFAXまたは郵送していただくか、ホームページから申し込み専用メールをお送りください。電話での申し込み受付はしてありません。[FAX 075-252-3001]

問い合わせ：TEL 075-252-3002(火曜~金曜 10:00~17:00)

e-mail kodaibunka@kodaigaku.org 件名は「古代学講座」でお願いします。